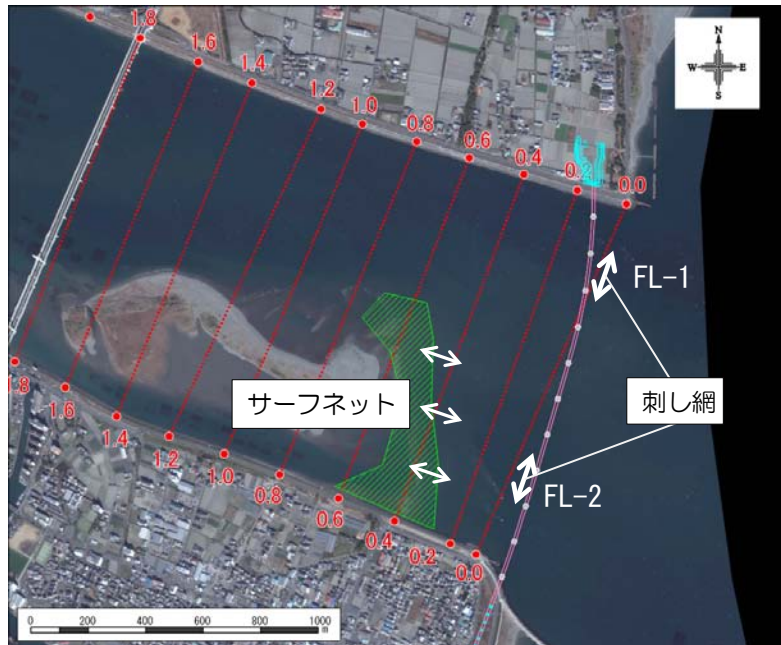


⑥魚類調査（速報）

■調査範囲



■調査実施日

- 平成26年10月調査
 - 刺網 平成26年10月22日～23日
 - サーフネット 平成26年10月10日
- 平成27年6月調査
 - 刺網 平成27年6月3日～4日
 - サーフネット 平成27年6月1日

■第5回環境部会(H27.2.24)で報告した内容

- 確認された種は、吉野川河口における普遍的な種が確認されたものと考えられる。

■ 魚類調査の結果(速報) ～調査結果～



魚類調査(刺網)の結果の概略を以下に示す。

①刺網で捕獲された魚類に重要種はなく、河口～海域に出現する**普遍的な種の生息**が確認された。



刺網の結果、計画線付近では重要種は確認されず、捕獲した種はいずれも吉野川河口における**普遍的な種が確認**されたものと考えられる。

■ 平成26年10月確認種一覽

番号	門	綱	目	科	和名	FL-1		FL-2		合計	
						個	湿	個	湿	個	湿
1	脊椎動物	軟骨魚	シロサメ	トチサメ	シロサメ	1	1,643			1	1,643
2			サカタサメ	ウチウサメ	ウチウサメ	9	3,947	1	355	10	4,302
3			トビエイ	アカエイ	アカエイ	3	2,905			3	2,905
4		硬骨魚	ニシン	ニシン	コノシロ			1	202	1	202
5			ヒメ	エソ	トカゲエソ	1	318			1	318
6			ホラ	ホラ	ホラ	1	2,160			1	2,160
7			ススキ	コチ	ニハ	2	2,050	2	1,959	4	4,009
8				タイ	キヌ	6	4,639	5	3,928	11	8,567
9					マコチ	2	3,106			2	3,106
10			カレイ	ヒラメ	ヒラメ	2	1,599			2	1,599
11				ウシノタ	アカシビラメ			1	168	1	168
種類数						9		5		14	
合計						27	22,367	10	6,612	37	28,979

- 注) 1. 「個」は個体数の略。
- 2. 「湿」は湿重量の略。
- 3. 湿重量の「+」は1g/網未満を示す。

調査期日：平成26年10月22日

調査方法：刺網

(単位：個体数；個体/網、湿重量；g/網)

■ 平成27年6月確認種一覽

番号	門	綱	目	科	和名	FL-1		FL-2		合計	
						個	湿	個	湿	個	湿
1	脊椎動物	軟骨魚	トビエイ	アカエイ	アカエイ	1	455	1	1,600	2	2,055
2				ツバクロエイ	ツバクロエイ			1	402	1	402
3		硬骨魚	ニシン	カタクチイソ	カタクチイソ			3	41	3	41
4				エソ	トカゲエソ	2	599	1	227	3	826
5			カレイ	ウシノタ	クロウシノタ			1	348	1	348
6					コウライアカシビラメ	1	85			1	85
種類数						3		5		8	
合計						4	1,139	7	2,618	11	3,757

- 注) 1. 「個」は個体数の略。
- 2. 「湿」は湿重量の略。
- 3. 湿重量の「+」は1g/網未満を示す。

調査期日：平成27年6月4日

調査方法：刺網

(単位：個体数；個体/網、湿重量；g/網)

※平成27年6月の調査では、底生動物としてFL-1でイシガニを2個体、FL-2でイシガニを8個体捕獲している。

■ 魚類調査の結果(速報) ～調査結果～



魚類調査(サーフネット)の結果を以下に示す。

①サーフネットで捕獲された魚類には、重要種であるガンテンイシヨウジとエドハゼが捕獲された。

■ 平成26年10月確認種一覧



番号	門	綱	目	科	和名	FL-3		FL-4		FL-5		合計		
						上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	個	湿	
						個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシン	ニシン	サッパ	12	0.69			1	0.07	13	0.76	
2				カサガイ	カサガイ					21	4.61	21	4.61	
3				トクノ	ヨウノ									
4				スズキ	クロキ		1	+				1	0.00	
5					ハゼ	1	0.01		1	0.02		2	0.03	
6					ハゼ	17	0.01		1	+		29	0.06	
7					クロエリハゼ						1	0.02	1	0.02
種類数														
合計														

注) 1. 「個」は個体数の略。
 2. 「湿」は湿重量の略。
 3. 湿重量の「+」は1g/網未満を示す。
 調査期日：平成26年10月10日
 調査方法：サーフネットによる曳網(曳網距離約50m)
 (単位：個体数；個体/曳網、湿重量；g/曳網)

【■】は、貴重種保護の観点より非公開



ガンテンイシヨウジ
 環境省：指定無し
 徳島県：情報不足(DD)

■ 平成27年6月確認種一覧

サーフネットの結果、河口干潟の東部では、重要種であるガンテンイシヨウジやエドハゼの生息が確認された。これらの種は先行事例でも確認事例があるため、いずれも吉野川河口における**普遍的な種が確認されたもの**と考えられる。

番号	門	綱	目	科	和名	FL-3		FL-4		FL-5		合計	
						上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	上げ潮	下げ潮	個	湿
						個	湿	個	湿	個	湿	個	湿
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシン	ニシン	コノシロ	1	+	7	+	13	+	16	0.01
2					ニシン科			2	+	1	+	2	+
3					カサガイ					3	+		
4					ボラ			2	0.07				
5					スズキ					1	+		
6					タイ	1	0.01	1	0.02	15	0.16	10	0.13
7					エドハゼ							10	0.10
8					ハゼ								
9					フナ			1	0.06	8	+	1	+
種類数													
合計													

注) 1. 「個」は個体数の略。
 2. 「湿」は湿重量の略。
 3. 湿重量の「+」は1g/網未満を示す。
 調査期日：平成27年6月1日
 調査方法：サーフネットによる曳網(曳網距離約50m)
 (単位：個体数；個体/曳網、湿重量；g/曳網)

【■】は、貴重種保護の観点より非公開



エドハゼ
 環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)
 徳島県：絶滅危惧ⅠA類(CR)



※フジノハナガイの確認場所は貴重種保護の観点より非表示